ふくさき再発見シリーズ⑥

北野散布地

北野散布地は福崎町西田原字北広岡・向下広岡周辺に位置する縄文時代から近世に至る複合遺跡です。今まで分布調査や確認調査と３回の本発掘調査が行われ、弥生時代中期から後期の集落跡が確認されています。中世の集落跡も調査されています。遺物は縄文土器から近世の土面子まで幅広い時期のものが出土・採集されています。

福崎町全図

上大明寺遺跡　竪穴住居

上大明寺遺跡　土器棺

上大明寺遺跡　ガラス玉

北野散布地周辺は遺跡が密集している地域です。やはり縄文時代から近世の遺跡が広がっています。東側にある北野寺西遺跡では弥生時代後期の円形周溝墓が調査されています。播磨に多い墓です。北側の独立丘陵である辻川山周辺にも弥生時代の遺跡が多く見られます。北西部の上大明寺遺跡では中期後半の土器棺や竪穴住居が確認されています。竪穴住居からは当時としては貴重なガラス玉が出土しています。宮山遺跡からは交流を示すスタンプ文や多孔土器が出土しています。

第 13 次調査　溝（SD06）

第 5 次調査　P12 調査風景

第 5 次調査　柵（SA02）

弥生時代以外の遺構は、第５次調査で平安時代末頃の柵などを確認しています。柵はほぼ南北方向に主軸を持ち、４間 10m を測ります。西側調査区外へ続いて掘立柱建物になる可能性も考えられます。それ以外にも板石を底に礎板として敷き、その上に３個の土師器椀を置いたピットもあり地鎮かと思われます。

遺物は縄文時代から近代までのものがあり、長期間継続して生活していたことがわかります。

第 13 次調査出土　縄文土器

第 5 次調査　P01 出土土師器（平安時代）と出土状態

めんこ（土面子。江戸時代の子どもの玩具と言われています）

ふくさき再発見シリーズ⑥

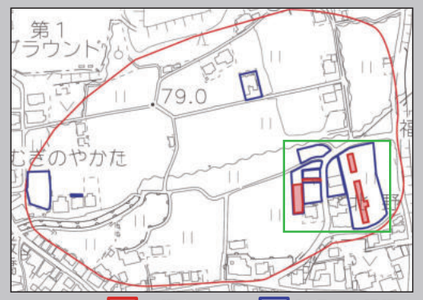
北野散布地

編集発行：福崎町教育委員会

〒679-2280　兵庫県神崎郡福崎町南田原 3116-1
TEL：0790-22-0560
E-Mail：syakai@town.fukusaki.lg.jp

北野散布地の調査範囲

弥生時代の遺構は、第５次調査で後期の竪穴住居と掘立柱建物が、第８次調査で竪穴住居の可能性のある溝を、第 13 次調査で中期後半の掘立柱建物が調査されています。



本調査　試掘・確認調査

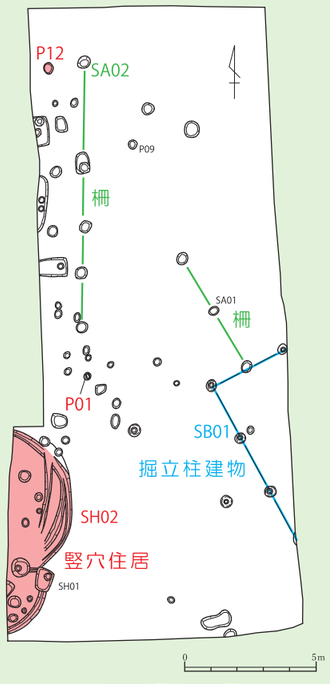
第５次調査

第５次調査の竪穴住居は２棟あり、後期後半の時期でともに円形で拡張・建替えが認められます。調査区外へ延びているため全容はわかりませんが、径 5.5m前後に復元されます。上屋構造は不明です。

調査区全景

P12 出土状態

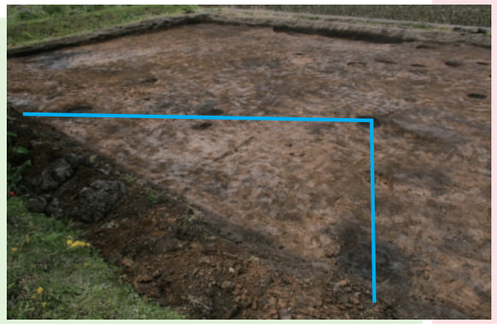
P12 出土土器



第５次調査平面図

竪穴住居（SH02）（南から）

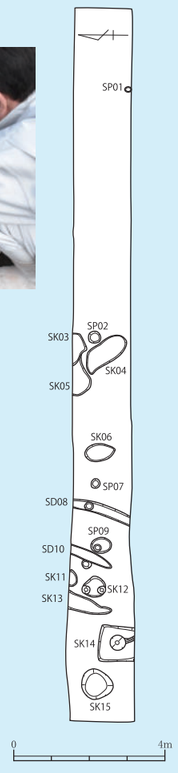
竪穴住居（北から）



第５次調査　掘立柱建物（北東から）

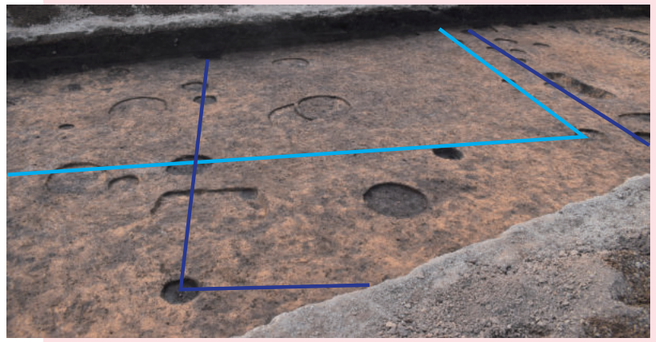
第８次調査

調査区全景（西から）



第８次調査平面図

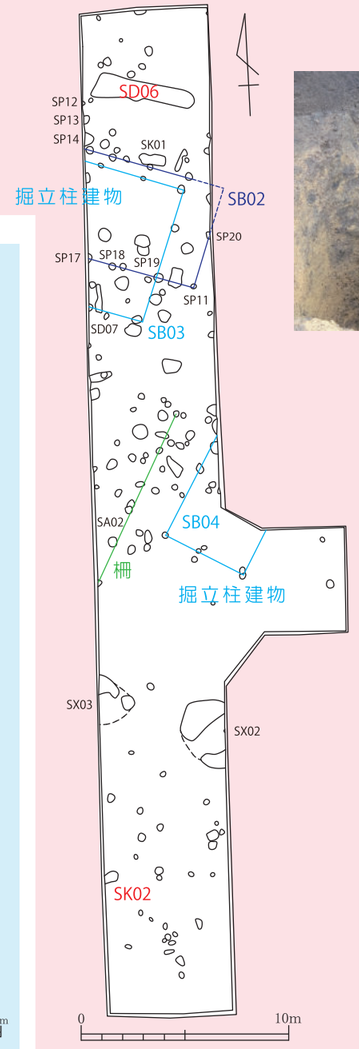
第１３次調査



第 13 次調査　掘立柱建物（SB02・03）（東から）

調査区全景

掘立柱建物は第５次調査で後期の、第 13 次調査で中期後半の遺構を調査しています。第５次調査例は２間 ×3 間以上で調査区外へ延びています。第 13 次調査では４棟確認しており、やはり２間 ×3 間以上の側柱建物です。弥生時代の柱穴は後世の建物柱穴と比べて径が小さく、径に比べて深さがあるのが特徴です。



第１３次調査　南区平面図

掘立柱建物（SB02）P20 断面

掘立柱建物（SB02）P17 断面

掘立柱建物（SB02）P20 弥生土器出土状態と弥生土器

土坑（SK02）出土土器